

市場価格

ドル建て ドル/TOZ

Platinum	Price	Date
Open	921.33	2020/8/24
High	948.31	2020/8/27
Low	911.48	2020/8/27
Close	933.50	2020/8/28

円建て 円/グラム

Platinum	Price	Date
Open	3133.35	2020/8/24
High	3221.00	2020/8/27
Low	3117.00	2020/8/27
Close	3161.00	2020/8/28

ドル建て ドル/TOZ

Palladium	Price	Date
Open	2181.50	2020/8/24
High	2222.00	2020/8/28
Low	2130.00	2020/8/25
Close	2208.00	2020/8/28

円建て 円/グラム

Palladium	Price	Date
Open	7409.00	2020/8/24
High	7546.00	2020/8/27
Low	7260.00	2020/8/25
Close	7468.00	2020/8/28



ニュースエクスプレス

貴金属への投資流入の中、プラチナETFの現物保有高、急上昇

プラチナETFの現物保有量は過去最高となり、数ヶ月にわたってゴールドとシルバーの上昇に遅れをとっていたプラチナの先行きが明るい。

ブルームバーグによると5月中旬以来、60万オンス以上のプラチナETFが買われ、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響で縮小した宝飾品需要と自動車需要を補う形となった。

WisdomTreeのリサーチディレクター、Nitesh Shah氏によると最近のゴールドとシルバーの高騰に乗り遅れたと焦った投資家が今回プラチナを買いあさり、またゴールドとシルバーの上昇で出た利益が、まだ比較的安価なプラチナの買いに流れたと思われるとのこと。

(ソース: <https://www.bloombergquint.com/markets/platinum-assets-in-etfs-swell-amid-rush-into-precious-metals>)

コメルツ銀行は、ゴールドが2000ドルを下回る中、プラチナに注目

1920ドルを超えたものの、次に心理的に大きな意味合いのある2000ドルを再びなかなか超えられないゴールドを横目に、投資家はプラチナに注目している、とコメルツ銀行。

「ゴールドETFの需要は冷めつつあり、実際昨日は売りが入ったし、多くの投資家がプラチナを買っている。」と、コメルツ銀行アナリストCarsten Fritsch氏。「今週初めからプラチナETFは42,000オンス買われ、7月初旬以来全体で36万オンスとなっている。価格だけ見ても、ゴールドよりもプラチナを購入する価値があるのは明らかだ。」

WPICのリサーチを率いるTrevor Raymond氏は、ゴールドのプラチナに対するプレミアムは最近1000ドルを優に超え、ほとんど過去最高レベルにあると今週 Kitco Newsに語っている。

「プラチナをゴールドに近いものとして、あるいは短期でよりパフォーマンスがよいものとしてプラチナを見ているゴールド投資家が増えている。4月以降、約40万オンスの(プラチナ)ETFが買われた。プラチナは(ゴールドよりも)市場が非常に小さいので、少し投資が増えただけでもプラチナのファンダメンタルズに非常に大きな影響を与えることになる。」

(ソース: <https://www.kitco.com/news/2020-08-26/Attention-is-turning-to-platinum-as-gold-price-trades-below-2-000-an-ounce-Commerzbank.html>)

新型コロナの影響を受けたプラチナ産業の第2四半期、しかし回復の兆しも

新型コロナウイルス感染症の拡大による経済への打撃は、今年の第2四半期のプラチナの需給に大きな影響を与えたが、プラチナ・ギルド・インターナショナル(PGI)の最新の『プラチナジュエリー・ビジネスレビュー』によると、回復の兆しが見えていると言う。

特に中国のほとんどの都市でロックダウンが解除されて楽観的になった消費者のおかげで、宝飾品販売の減少は第2四半期で緩和されたようだ。PGIによると供給サイドの回復は顕著で、第1四半期は前年比8.4%の減少だったプラチナ生産は早くも第2四半期は前年比4.4%増となっている。

日本の宝飾品販売も、経済活動が復活して旅行以外の国内消費のために現金が支給され、6月は回復傾向。

外出自粛期間中は店舗以外の販売が増え、第2四半期のプラチナ宝飾品は高級宝飾品とブライダル需要の好調に支えられた。

(ソース: <https://www.miningweekly.com/article/covid-19-impacts-on-platinum-industry-in-second-quarter-but-signs-of-recovery-on-the-horizon-2020-08-27>)

新型コロナの影響を受けたプラチナ産業の第2四半期、しかし回復の兆しも

貴金属価格の高騰、営業利益の増加、ランド安に支えられ、南アフリカのNortham Platinumの通年利益は150%増と発表された。

同社は6月決算のheadline earnings per share (HEPS)が676.3セント(0.39米ドル)となり、前年の270.1セントから150%の増加となったとした。

HEPSは南アフリカで使われる主な業績数値で、非恒常的利益を除外。

(ソース: <https://www.reuters.com/article/northam-platinum-results-idAFL8N2FT6CE>)

Translated by Kazuko Osawa, JBMA



WPIC直近の活動

- WPICは、先週火曜日(8/25)と木曜日(8/27)に上海と深センに、チャイナゴールドニュースおよび北京ゴールド経済開発研究センターと協働で「100人の金融ジャーナリスト向けのプラチナセミナー」を開催。104社のメディアから合計111人のジャーナリストが参加。ICBC貴金属業務のヘッドは上海でのゲストスピーカーとして登壇。Shanghai Gold ExchangeとShanghai Future Exchangeからのスタッフもイベントに参加。<https://mp.weixin.qq.com/s/mNv5JvhaR7s2Vuss6INw6g>
- 腐食も酸化もしない数少ない貴重な物質であるプラチナはその化学的、物理的な特性から、様々な工業分野でコーティングやメッキに使われてきた。8月20日のWPIC「プラチナ豆知識」はコーティングに着眼しました。詳しくは <https://platinuminvestment.com/about/60-seconds-in-platinum/2020/08/20>



(@wpicjapan)